

授業科目	地域医療合同セミナー1	1 学年・通年・1 単位 (30 時間)	
		全学科	選択

科目担当責任者	相馬 仁 (教育研究棟 7 階 D713 号) e-mail : sohma@sapmed. ac. jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	相馬仁、他(地域医療合同セミナー企画運営委員会委員)		
概要	本科目は、医学部との合同カリキュラムである。地域医療を展開する上で必要となる基本的な知識と、パートナーシップを形成する基本的態度を獲得し、北海道が抱える保健医療課題への理解を深める。また、講義、演習、地域医療基礎実習を通じて、地域における多職種連携と地域住民との双方向コミュニケーションを実践的に学ぶ。地域医療を展開する上で必要な基本的知識と態度を獲得することを目的としているので、講義を聞いて理解するという参加の仕方ではなく、積極的にグループ活動、実習地で地域スタッフや住民と関わる姿勢が求められる。		
到達目標	1. 北海道の地域性、地域に暮らす住民の生活を理解し、地域医療に必要な基本的な知識を獲得する ①北海道地域の人口構造と地域を支える産業構造を説明できる ②地域の特徴を踏まえ、医療・福祉の関連を説明できる 2. パートナーシップを形成する基本的態度を身につける ①自己と他者を客観的に理解することができる ②基本的信頼関係を構築できる態度をとることができる ③基本的なコミュニケーション技能を身につけ、良好なコミュニケーションが取れる 3. グローバルな視点を身につける ①世界の地域医療の現状と課題を理解し、説明できる ②世界事情に照らし合わせて、北海道の地域医療の特徴・課題を考え、説明できる		
関連科目	北海道の生活と健康		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	レポート	60%	
	成果発表	30%	
	その他	10%	
主に、レポート、実習態度(zoomの場合はインタビューの態度)を評価して、最終評価を決める			
教科書	指定なし		
参考書	①埼玉県立大学(編) [2006] 「IPW を学ぶ：利用者中心の保健医療福祉連携」 中央法規出版 ②日本国際保健医療学会 (著) [2013] 「国際保健医療学」 杏林書院 ③日本医学教育学会地域医療教育委員会・全国地域医療教育協議会 合同編集委員会 (監修) [2019] 「国試・改訂コアカリ対応 地域医療学入門」 診断と治療社		
履修上の留意点	・地域医療を展開する上で必要な基本的知識と態度を獲得することを目的としているので、講義を聞いて理解するという参加の仕方ではなく、積極的にグループ活動、実習地で地域スタッフや住民と関わる姿勢が求められる。 ・受講定員は保健医療学部全体で 36 名とする。定員を超えた受講希望があった場合は抽選となる。受講希望者は説明会に参加し、受講および実習地の申込みをすること。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	コースオリエンテーションとイントロダクション、北海道の地理的特徴と地域医療概論	事後：授業内で理解できなかったことを次回までに解決しておく。	講義	相馬
2	北海道地域の暮らし：実習で関わる北海道地域の生活等に関する基礎知識	事後：授業内で理解できなかったことを次回までに解決しておく。	講義・演習	〃
3	北海道地域医療概論：北海道地域医療(道東)の特徴、地域の医療政策について	事後：授業内で理解できなかったことを次回までに解決しておく。	講義	〃
4	他者と関わる技法、チームワーク：他者と関わる技法、チームワークについて演習を通して学ぶ	事後：自身の課題を授業内で明らかにする。	講義・演習	〃

5	世界の地域医療事情と多職種連携概論:特に多くの地域医療課題を抱える国の事情と多職種連携と実践について	事後:授業内で理解できなかったことを次回までに解決しておく。	講義・演習	外部講師
6	地域滞在実習準備:地域滞在実習で訪れる地域について事前に様々な観点から調べ、実習の目標を考える zoomの場合:地域介入研究紹介	事後:地域滞在実習中の予定を再確認し、何を学ぶか自分の目標を考えておく。	〃	相馬 zoomの場合は外部講師
7	地域滞在実習1 zoomの場合:オンラインでのグループワーク等オリエンテーション	事前:実習内容の確認をする。 事後:実習を振り返り、自身の課題を明らかにする。	実習 zoomの場合は講義・演習	相馬、他
8	地域滞在実習2 zoomの場合:北海道の地域医療について、学習進捗調査①	事前:実習内容の確認をする。 事後:実習を振り返り、自身の課題を明らかにする。	〃	〃
9	地域滞在実習3 zoomの場合:北海道の地域医療について、学習進捗調査②	事前:実習内容の確認をする。 事後:実習を振り返り、自身の課題を明らかにする。	実習 zoomの場合は講義	〃
10	地域滞在実習4 zoomの場合:医療・福祉における多職種連携について	事前:実習内容の確認をする。 事後:実習を振り返り、自身の課題を明らかにする。	〃	相馬 zoomの場合は外部講師
11	実習振り返り zoomの場合:地域の健康課題に対する取り組み事例	事前:実習で得たことをまとめておく。 事後:更なる自身の課題を明らかにする。	講義・演習	〃
12	事例による多職種連携理解	事後:授業内で理解できなかったことを次回までに解決しておく。	〃	外部講師
13	報告会準備 zoomの場合:地域スタッフへのインタビュー①	事前:地域滞在実習で行った内容を振り返る。 事後:グループ発表を完成させる。	演習	相馬、他
14	報告会1 zoomの場合:地域スタッフへのインタビュー②	事前:グループ発表内容を振り返る。 事後:更なる自身の課題を明らかにする。	〃	〃
15	報告会2 zoomの場合:インタビュー総括	事後:更なる自身の課題を明らかにする。	〃	〃